

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
在宅支援論演習		BNSS4E21	30302	2後	2(30)	必修	
担当教員	和田 恵美子	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務 訪問看護師として9年勤務			
担当教員	武田 未央	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務 保健師として行政機関に5年、NGO職員として海外に2年勤務			
担当教員	内貴 千里	実務歴	有	看護師として病院/訪問看護ステーション等に 12年勤務			
概要	在宅看護における安全と健康危機管理について学ぶ。在宅における日常生活援助ならびに医療的援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的展開方法を学ぶ。また、事例の看護過程を展開し、看護の実際を考察していく。						
学修目標	1)在宅療養者の24時間の日常生活行動を考えることができる。 2)在宅における援助技術や医療的援助が説明できる。 3)在宅看護過程の特徴が説明できる。 4)対象特性に応じたアセスメントができる。 5)在宅看護過程の展開方法が事例を通じて実践できる。						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	◎	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎	
回	学修内容			予習・復習内容			
1	在宅看護過程の展開のポイント			P112-116 講義前に読む			
2	在宅看護過程の展開方法			P116-137 講義前に読み理解しておく			
3	在宅看護における安全と危機管理			P137-158 講義前に読む			
4	在宅における権利保障			P158-169 講義前後に読む			
5	災害時における在宅療養者と家族への危機管理			災害時の看護に関するニュースを読んでおく			
6	在宅療養と日常生活 環境整備			P179 -181 講義前後に読む			
7	在宅看護に必要なコミュニケーション技術、フィジカルアセスメント			P175-179, 182-187 講義前後に読む			
8	訪問看護に必要なフィジカル・アセスメント			フィジカルアセスメントの復習			
9	在宅で求められる生活行動援助①:食生活・嚥下、排泄、睡眠			P188-200 講義前後に読む			
10	在宅で求められる生活行動援助②:移動・移乗、清潔			P200-216 講義前後に読む			
11	生活補助用具の活用			事例の場合の生活を考えた上で、臨む			
12	生活補助用具の活用						
13	生活補助用具の活用						
14	在宅における医療的ケア:褥瘡,尿道留置カテーテル,ストーマ			P232-254 読んで理解する			
15	経管栄養法、人工呼吸器、NPPV、外来癌治療、疼痛緩和			P254-276, P282-30 読んで理解する			
16	在宅酸素療法			P278-281 読んで理解してくる			

17	在宅酸素療法	
18	ケア計画と看護計画	テキストの指定部分を読んで理解してくる
19	事例紹介と記録用紙の使い方	
20	看護過程の展開:課題抽出	グループで発表し、それぞれの進度を合わせる
21	看護過程の展開:課題の統合	
22	看護課題と計画	
23	看護課題と計画	演習のための計画作成
24	看護課題と計画	演習のための計画作成
25	演習	
26	在宅におけるエンドオブライフケア	P216-232 講義前後に読む
27	認知症の人への訪問看護	
28	演習	
29	看取りの訪問看護	
30	訪問看護の意味と在宅看護の必要性	
使用 テキスト	在宅看護論 医学書院 2020年	
参考図書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版2020年 ナーシンググラフィカ 在宅看護論②地域療養を支える技術 メディカ出版2020年	
成績評価 基準	見学レポート20%、訪問看護グループ演習30%、定期試験50%	